

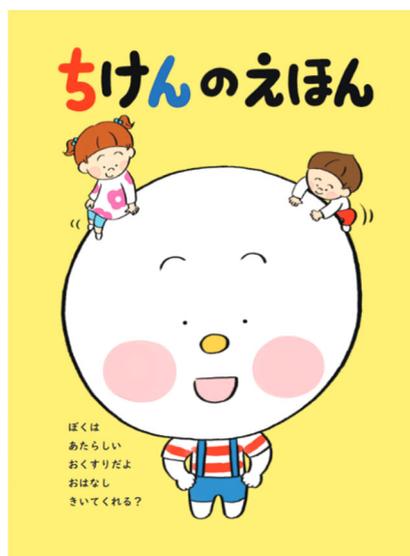
2026年3月12日

報道関係各位

シミックヘルスケア・インスティテュート株式会社

シミックヘルスケア、PPI 活動の一環として 小児治験の理解促進を目的とした『ちけんのえほん』を制作

シミックホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：大石 圭子）のグループ会社であり、SMO（治験施設支援機関）事業を中心に臨床試験を総合的に支援するシミックヘルスケア・インスティテュート株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：坂崎 孝平、以下：シミックヘルスケア）は、PPI（Patient and Public Involvement：患者・市民参画）活動の一環として、小児治験に対する理解促進を目的としたオリジナル啓発資材『ちけんのえほん』を制作し、医療機関等での活用を開始しました。



近年、小児を対象とした治験は増加傾向にあります。一方で、メディアの多様化により情報があふれる社会環境のなか、治験に対する不安や誤解が生じるケースも少なくありません。小児治験では、被験者となるお子さま本人の理解（アセント）に加え、保護者の十分な理解と判断が不可欠であり、シミックヘルスケアでは、親子で治験や薬の開発について正しく理解できる機会を創出することが重要と考え、絵本の企画・制作に至りました。なおこの絵本は、特定の治験広告や参加を促すものではなく、ご家族の方がお子様に治験について説明する際の補助資材として、活用いただくことを想定しております。

シミックヘルスケアは、これまで全国の医療機関において多くの小児治験を支援してきたほか、患者・医療従事者・企業の声が届ける支援を行うメッドコンシェルジュサービスを通じて、患者・家族の座談会やインタビューを実施するなど、PPI 関連の活動も数多く行ってきました。この絵本は、そのような

経験と PPI 活動の知見をもとに企画・制作しており、薬剤開発の意義や治験の役割について、親子で自然に読み進められる構成としています。

また、制作にあたっては、治験を実施される先生をはじめ、治験アンバサダー（※）や患者団体に所属する患者ご家族、実際に治験に参加経験のあるお子さまにも内容をご確認いただき、ご意見やアドバイスを反映させました。イラストおよびキャラクターデザインは、絵本・児童書分野で活躍する絵本作家／イラストレーターの林ユミ先生に担当いただいております。

※治験アンバサダー：社団法人 YORIAILab の「治験アンバサダープロジェクト」を通してトレーニングを受講し、患者・家族や市民の立場から治験の経験や意義を発信しながら、社会における治験啓発活動を担う役割。

すでに小児科や産婦人科など複数の治験、医療機関での活用が始まっており、医療現場からは「イラストと言葉で治験が分かりやすく説明されている」「同意説明前の理解補助として有用」といった高い評価が寄せられています。また、治験依頼者からも「PPI の視点を取り入れた取り組みとして意義がある」「被験者募集活動の質の向上につながる」との期待の声が寄せられています。このような実績と評価を踏まえ、この度、改めて本取り組みを広く紹介することとしました。

シミックヘルスケア・インスティテュート株式会社 代表取締役社長 坂崎 孝平は、次のように述べています。

「当社は、SMO として全国の医療機関における治験支援を通じて培ってきたノウハウやネットワーク、専門人材を基盤に、被験者募集や治験文書管理、治験啓発活動などを含め、臨床試験全体を支援する総合支援企業を目指しています。今回の『ちけんのえほん』の制作は、その取り組みの一環として、治験に対する正しい理解を広く社会に届けたいという思いから企画しました。

治験の啓発活動は、製薬企業や医療機関でも行われていますが、個別での実施は機会や対象が限定される場合もあり、臨床試験の現場を総合的に支援する当社が主体となり、継続的に情報発信を行うことで、より幅広い世代や社会全体に治験への理解を広げていけるのではないかと考えています。

すでに小児科などの医療機関や複数の治験で活用が始まっており、患者ご家族や医療従事者からも良い反響が寄せられています。また PPI の視点を取り入れた取り組みとして、治験依頼者からも評価をいただくなど、一定のニーズと意義を確認できています。

今回は、第一弾として課題感の高い小児治験に焦点を当てましたが、今後は中高生や成人向けなど、世代に応じた治験啓発コンテンツの制作も計画しています。これらの取り組みを通じて、我が国における臨床試験の理解と認知の向上に貢献してまいります。」

■ シミックヘルスケアの主なサービス

- SMO（治験実施支援）サービス
- 被験者募集支援
- メッドコンシェルジュサービス
- 患者・家族向け座談会／インタビュー実施
- 治験啓発資材の企画・制作
- PPI 活動支援



シミックヘルスケアでは、全国の医療機関や患者会、一般社団法人 YORIAILab 等と連携し、今後も臨床試験全体を支援する立場から、患者視点に基づく価値提供を推進してまいります。

■シミックヘルスケア・インスティテュートについて

シミックヘルスケア・インスティテュート株式会社は、SMO（治験施設支援）業務、ヘルスケア情報サービスなどをはじめ、「くすりの一生から、ひとの一生まで」をコンセプトに医療関連施設を中心に総合的な支援を行い、医療従事者および患者様などの医療アクセスに寄与しています。健康、未病・予防、予後といった一貫した生活スタイルから派生する各ステージにおいて、培ってきた知識・ノウハウを活用し、生を受けたその人がその人らしい一生を全うする一助となるよう、あらゆるライフスタイルの支援と維持に貢献してまいります。詳細はウェブサイトをご覧ください。

<https://www.cmic-hci.com/>

■シミックグループについて

シミック（CMIC）は、1992年に日本で初めてCRO（医薬品開発支援）事業を開始し、今では開発から製造、営業・マーケティングまでの医薬品に関する総合的な支援業務を提供しています。製薬・バイオテクノロジー・医療機器等の海外企業の日本市場参入や、アジアでの臨床試験実施、米国と日本における医薬品開発および製造のサポートなども展開しています。また、シミックは個人や自治体を支援する新しいヘルスケアソリューションを提供しており、製薬企業のバリューチェーンを全面的に支援する豊富な経験と実績を基盤として、“個々人の健康価値を最大化”する事業モデルPHVC（“Personal Health Value Creator”）の展開を目指しています。シミックグループは、世界中に7,700人を超える従業員とグループ会社28社を擁しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<https://www.cmicgroup.com>

【報道関係からのお問い合わせ先】

シミックホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部
E-mail: pr@cmic.co.jp